



2025.7 Vol.111

ヤングアダルト世代へ贈る、ブックガイド

野洲図書館のホームページはこちら→→



発行：野洲図書館
(野洲市辻町410番地)

tel 077-586-0218 fax 077-587-5976

<https://www.lics-saas.nexs-service.jp/yasu/>

「YAのページ」では、司書が週替わりでいろんなことをつぶやいています♪あそびにきてね☆

今号の内容は…

- ★表紙の1冊
- ★見習い司書のオススメ
- ★司書のオススメ
- ★新しく入った本
- デス

表紙の1冊

俺が、終わらせなければ。

『終わらない冬、壊れた夢の国』

八目 迷／著 小学館（ガガガ文庫）

B913.6/ハチ



冬休み最終日となる一月七日、警察官を志す高校生カシオは、友人三人とサニーパークという、「人が消える」と噂される遊園地を訪れる。トイレで出会ったのは、自分の名前を知る不思議な少女。「君、殺されちゃうかもよ」—その予言通り、カシオは友人の一人ネリコに刺されてしまう。「あせびちゃんを、助けてあげて」ネリコの泣き声を最後に、意識を取り戻したカシオは、自分がサニーパークに入場した時点に戻っていると気づく。不思議な少女・あせびだけがそれを知っており、カシオよりずっと前から同じ1日をループしていた。このループから抜け出す唯一の方法、それは人を殺すことだったー。

◆時間が過ぎる・時間がリープする・時間が止まる…不思議な時間を体験する春夏秋冬シリーズの最終巻がいよいよ登場。人がみんな帰った遊園地と、そこに現れる…怖!!!熱が出たとき見る夢のようなホラー感。奇怪な現象に冒頭の事件、あせびがなぜループに陥っているのか、物言えぬ恐怖がつきまといます。すべてが終わったと思いきやのクライマックスも思わず叫びました…。でもこのシリーズの魅力は、人を思うことの強さを感じさせてくれるところ。「冬」の巻の最後の言葉、私は大好きです。(ざ)



『きのうの春で、君を待つ』

『夏へのトンネル、さよならの出口』



『琥珀の秋、0秒の旅』



見習い司書のオススメ

職場体験に来てくれた
野洲北中学校のみなさんの
おすすめの本です♪

『都会(まち)のトム&ソーヤ 1』

はやみね かおる／著 講談社 K913/ハヤ



主人公の内人は塾通いに追われるごく普通の中学二年生。ある日、内人は大手企業の後継者であり、学校一の天才と呼ばれる創也と出会い、一緒に究極のリアル・ロールプレイングゲームをつくることに！内人のサバイバル能力と創也の知力を生かして謎のゲームクリエイターに挑む、都会(まち)最強・中学生コンビの冒険記！！

◆日常的でずっと共感できる学校生活から、わくわくがとまらない冒険シーンや、ゲームづくりの場面など、この本にはたくさんの「楽しい」が詰めこまれています。みなさんも、非日常を味わえる冒険にでてみませんか？(ペ)

『「好き!」の先にある未来』

加藤 美砂子／編著 岩波書店(岩波ジュニアスタートブックス) K407

「理系科目が好き!」「将来は理系に進みたい」、でもどんな進路や仕事があるんだろう? そんな人たちに向け、理系の道に進んだ十一人の先輩が、自分の体験をもとに進路や仕事について語ります。「生き物が好き」など、「好き」が決め手になった人もいれば、苦手だった理系科目がいつのまにか職業につながっていた人もいます。この本を読んで進路選択の視野が広がりました。自分の「好き」や「面白い」を大切にしたいと思える1冊です。自分の将来に希望を与えるような話が多く、自分の将来について悩む人や、理系に進むつもりのない人にもぜひ読んでもらいたいと思います。(S)



『86-エイティシックス- Alter. 1』

安里 アサト／著 KADOKAWA(電撃文庫) B913. 6/T44



共和国軍人で若くして指揮管制官を務めるレーナ。そしてレーナとともに戦う「エイティシックス」のシンたち。戦うことが日常となっていた彼らがともにテーブルを囲み、誕生日を祝う。仲間とともに毎日を過ごしていく中で感じる、小さな幸せが詰まった1冊。

◆本編はシリアスな雰囲気ですが、本編では見られない彼らの日常や青春を楽しむことができます。(T)

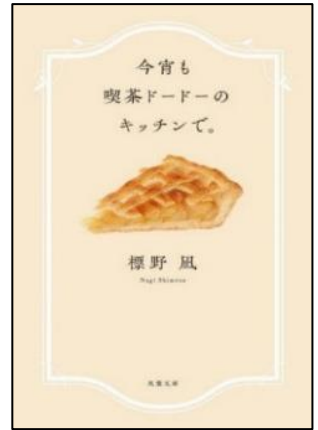
大人気シリーズの
短編集!



『今宵も喫茶ドードーのキッチンで。』
標野 風／著 双葉社(双葉文庫) B913.6/シ

住宅地の奥、ひっそりと営業しているおひとりさま専用カフェ「喫茶ドードー」。がんばっている毎日からちょっと逃げ出したくなったお客さんたちが、ふらりとやってきます。疲れきった体と心を和らげるのは、店主そろりの出す料理。「貴方の悩みに効くメニュー」で心が安らぎます。

◆目まぐるしく変わる世の中で、心の引っかかりをどのように消化していけばよいか悩む人たちの心情や心のわだかまりを、美味しい料理で解いていくところが素敵だなと思いました。店主そろりの少し独特な考え方や料理名に癒されます。章ごとにお話の内容が変わるので、飽きずに読めると思います。(桜)



司書のオススメ
Recommendation



『ツッコミ待ちの町野さん』
にちよぴん／著 KADOKAWA (電撃文庫) B913.6/ニ

こんちくわ!

水泳部の町野さんはいつも部活が始まる前に、僕しかないドミノ部に顔を出す。町野さんはコント仕立ての会話でボケ倒すので、僕はツッコまずにはいられない…。

◆主人公の僕＝二反田は新学期の自己紹介でスベリ散らかして以来、クラスでうっすら浮いた存在で、乾いた笑いを愛する、ちょっとめんどくさい陰キャです。一方、町野さんは、スポーツドリンクのCMに出てきそうなハツラツとした陽キャヒロイン。そんな高嶺の花の町野さんが、オタクの二反田に、天真爛漫^{てんしんらんまん}にからみまくり、タジタジながらも二反田がツッコむコントのような掛け合いがたまりません。二反田以外にも超個性派な陰キャたちのトークも必見！二反田を翻弄するたびに町野さんの口が「ω」の形になるのがとにかくかわいい♪(る)



『地球一家が、おじゃまします。』

トナミ ゲン／著 Gakken K913/ト

モノの見方が変わるかも

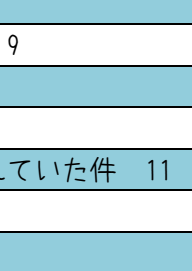
ごくふつうの地球人一家が、地球によく似た、「第二地球群」をめぐる旅に出た。でも、行く先々の星で出会う人々や、その習慣、価値観は、地球とは変わっていて……。発想力と価値観が変わる、ちょっと不思議な、24の物語。

◆「第二地球群」の星を訪れた地球一家が、地球とは真逆の常識や価値観に戸惑い、ときに怒りながらも、理解を深めていく短編集なのですが、教訓ばさはなく、各章のまさか？！のどんでん返しも魅力のひとつです。私たちも、これが当たり前！という思い込みに囚われていることが意外と多い気がしました。「そんなおかしいやん？！」ではなく、「ほう！そういう考え方もあるんだ💡」と柔軟に受け止められる、サウイフモノニ ワタシハ ナリタイ！(る)



NEW ARRIVAL

↓ あたらしくはいったほん (の、ほんの一部) です ↓

タイトル	著者	出版社	
5 分後に意外な結末 QUIZ	井口 透／編著	Gakken	
図解でわかる 14 歳からの自分を助ける心理学	社会応援ネットワーク／著	太田出版	
障害のある 10 代のための困りごと解決ハンドブック	野口 晃菜／編著	現代書館	
ホロライブ学力診断中学 5 教科		Gakken	
さみしい夜のページをめくれ		古賀 史健／著	ポプラ社
図書館のゆるゆる人生質問箱		北海道斜里町立図書館／著	ワニブックス
F+M トランスジェンダーのぼくのことを話そう		江里 ユウキ／著	講談社
自分ゴトとして考える難民問題		日下部 尚徳／著	岩波書店
大学受験案内 2026 年度用	晶文社学校案内編集部／編集	晶文社	
数の「発見」の物語		宮崎 弘安／著	岩波書店
水属性の魔法使い 第 3 部[1]		久宝 忠／著	T0 ブックス
ある魔女が死ぬまで 3		坂／著	KADOKAWA
魔女の旅々 24		白石 定規／著	SB クリエイティブ
掟上今日子の保険証		西尾 維新／著	講談社
魔術師クノンは見えている 7	南野 海風／著	KADOKAWA	
名探偵と学ぶミステリ	杉江 松恋／編著	早川書房	
わたしは、跳ぶ!		濱野 京子／作	新日本出版社
こうしてぼくはスパイになった		デボラ・ホプキンソン／著	東京創元社
ホタルの森と魔女の秘密		アイシャ・ブシュビー／作	フレーベル館
あの子を自由にするために		アン・クレア・レゾット／作	岩波書店
あいだのわたしたち		ユリア・ラビノヴィチ／作	岩波書店
少女星間漂流記 3		東崎 惟子／著	KADOKAWA
創約とある魔術の禁書目録 12		鎌池 和馬／著	KADOKAWA
ソードアート・オンラインプログレッシブ 9		川原 礫／著	KADOKAWA
ユア・フォルマ 7		菊石 まれほ／著	KADOKAWA
ようこそ実力至上主義の教室へ 3 年生編 1		衣笠 彰梧／著	KADOKAWA
お隣の天使様にいつの間にか駄目人間にされていた件 11	佐伯さん／著	SB クリエイティブ	
キグナスの乙女たち 7	佐島 勤／著	KADOKAWA	
朝が来るまで夜は待つ	志馬 なにがし／著	SB クリエイティブ	
天羽ルイナの空想遊戯		シヨーン田中／著	KADOKAWA
一般人の俺を芸能科女子達が逃がしてくれない件。		膳所々／著	KADOKAWA
エンバーミング・マジック 2		茶辛子／著	KADOKAWA
Re:ゼロから始める異世界生活 40		長月 達平／著	KADOKAWA
あの空に花が降るとき、僕はきっと泣いている		森田 碧／著	ポプラ社

編集後記：◆花粉のせいか、貸出カウンターでくしゃみが出そうに。マスクをしているとはいえ、お客様の前ではマズい！こらえろ！こらえられるか！？あれ我慢してたらこれ顔もなかなかヤバめなんでは！…出ました、くしゃみ。すみません…。(ざ) ◆祝！「やすど！！111 号」わんわんわん号です。犬派の“る”ですが、にゃんにゃんにゃんの 222 号の「やすど！！」もレビューを書きたい！その頃、ヤングなのかどうかはさておき YA 担当でいたいのです！(る) ◆最近さらに食欲がすごい。お菓子おいしい。パン大好き。でも薄着の季節の前にやせたい！とか言うてたのはどこの誰やねん、もう気温は夏ですよ～！半袖だよ～！まあ幸せだしっか。(だ) ◆今回のやすど！は職場体験に来てくれた野洲北中学校のみなさんと一緒に発行しました♪ありがとう！